



学生が災害ボランティアとして防災訓練に参加 地域住民の災害時ニーズ探るフィールドワーク実施

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：川原俊明）社会学部古川隆司准教授のゼミで社会福祉を学んでいる学生たちが、1月21日に行われる茨木市一斉防災訓練に避難誘導を行う災害ボランティアとして参加し、実践的な活動を通じて災害支援のニーズを探ります。

当日は、ゼミ生10名程度が茨木市社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターのボランティアとして訓練に参加します。2、3名が一組となって、支援が必要な車いすの利用者や視覚障害のある一人暮らしの方の自宅を訪ね、避難場所まで付き添いによる誘導を行います。また、炊き出しや、物資の搬入、仕分けの手伝いも予定されています。防災啓発活動としては、商店街へ赴き、商店主を対象にチラシと物資の配布も行います。

さらに、訓練に参加した市民にヒアリングを行い、感じた問題点、改善点等の要望を聞きだした上で持ち帰り、ゼミで対応策をまとめ、本年3月までに報告書を作成する予定です。

古川ゼミは、2016年度から始まった同訓練に、市内の大学から唯一継続して参加しており、活動を市民と共有することで地域貢献と実践的な学習の機会を得る場としています。

同地区は、茨木市のモデル地区となっているため、当日はトラック協会から物資の模擬搬入や、赤十字・消防による展示等も行われます。

報道関係の皆様におかれましては、学生が市民と共に防災訓練に取り組む様子取材いただければ幸いです。

【ポイント】

- 市のモデル地区となっている茨木小学校区で、避難誘導を通じた実践的な災害支援のフィールドワーク。
- 学生が市民に混じって防災訓練活動とヒアリングを行い、対応策をまとめる。
- 市内の大学において2016年度から唯一継続参加。地域貢献と実践的な学習機会の場としている。

■日 時 1月21日(日) 9:00-12:00

■会 場 茨木市立茨木小学校グラウンド 大阪府茨木市片桐町 8-40

■訓練参加者 茨木小学校区の自治会・市民・赤十字・消防その他

■参加ゼミ生 追手門学院大学社会学部古川ゼミ生 10名程度

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立